

とれくニュース



「とれくニュース」は、スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています。

一般社団法人 東京都レクリエーション協会



第36回 都民スポレクふれあい大会 総合開会式



CONTENTS

●特集「組織力を高める」

- 2 組織力を高めるために必要なことは 一般社団法人東京都レクリエーション協会 副会長 澤内 隆
- 3 どのように若い人を巻き込んで組織を活性化したのか? 調布市レクリエーション研究会 高木 直
- 4 今までの歩みと今後について 東京都スポーツチャンバラ協会 細川 健一
- 5 新規加盟団体の紹介 日野市レクリエーション協会 特定非営利活動法人日野市レクリエーション協会 馬場井 宏至
- 6・7 令和6年度 事業活動の紹介
- 7 東京都レクリエーション協会公認講師の紹介
- 8 賛助会員の紹介 ほか

組織力を高めるために必要なことは — コミュカUP! —

一般社団法人東京都レクリエーション協会 副会長 澤内 隆

1—組織力とは？

組織力とは「組織としての底力」「団結力」などと表現されることもありますが、これらに共通しているのは「ゴールを目指す力」だと言えるでしょう。柔軟性、弾力性があり修復性が高いといった意味の「レジリエンス」、機敏さ・素早さなどの意味を持つ「アジリティ」という言葉があります。この両者によって「組織力はコミュニケーション力で成り立つ」ということが証明されます。組織力の強化とはどのようなことでしょうか。そもそも強化とは、「足りない部分を見極め、補ってさらに向上させること」を意味します。足りない部分を見極めるためには、まず「ありがたい組織の状態」を描くことが必要です。



2—組織のコミュニケーション

組織のコミュニケーションが活発になることで、「情報の共有や意思決定の迅速化」、「チームの連携と協力の向上」につながります。ただし「雑談などが多く何でも話せる明るい人間関係」だけでは適切なコミュニケーションが取れていないとは言えません。心理的な葛藤を回避した対話や、標榜ばかりしているような会話では、価値を創造することはできないでしょう。お互いの意見や感情を尊重し合えるオープンマインドなコミュニケーションが、組織力を高めることにつながることを理解しておくことが重要です。

3—組織の活性化は場づくりから

組織力の強化に向けてコミュニケーションを活性化させるためには、そのための場づくりも必要です。プラットフォームやワーキングプレイス等の場の提供によって、各メンバーが情報発信と相互交流できるようになることで、メンバー間でお互いを知るきっかけが生まれます。コミュニケーションを図る簡単な方法は、日常の会話や声掛けに尽きます。相手に興味を持って接する意識があればコミュニケーションは自然と充実します。

4—コミュカをUPするために（目標コミュカおぼけ!?）

①組織内で目的を共有する。

組織にはメンバー全員が理解し目標になる共通の目的が必要です。目的が曖昧だったり、メンバーそれぞれで認識が異なったりしていると、まとまりがなくなり、組織理念や目標などを実現するのが難しくなります。

②組織内の貢献意欲を共有する。

メンバーが組織の目的やビジョンに対して、貢献したいと思う意欲も組織に必要です。貢献意欲を持つことによって、目的達成に向けて試行錯誤したり、メンバー同士で助け合ったりすることを期待できます。

③会議効率を上げ成果を出す。

会議は「決める」ことだけが目的ではありません。合意形成により「実行すること」を決め「成果を上げる」ことが必要です。一方で、情報共有の場、問題解決の場、意思決定の場でもあります。成果のある会議にするために目的を明確にすること、時間、司会・書記役を決めておくこと、議案（レジュメ、アジェンダ等）を事前に告知し、意見や必要な資料を準備することも必要です。

④コミュニケーションの円滑化を図る。

面接やアンケート、課題解決の援助（メンター制度など）、組織風土の改善、メンバー（組織人）としての意識改革のための教育・研修も大切です。特に日頃からメンバー同士の声かけも意識しましょう。

⑤コミュニケーションが取りやすい環境を整える。

コミュニケーションを取る機会を増やしましょう。組織内のコミュニケーションが活発になれば、発言をためらっていたメンバーが意見を出すようになります。メンバー同士が交流できるイベントを企画したり、疑問や不安を相談できる仕組みを作ったりするなどの工夫が効果的です。たとえばメンバー間の交流イベントとして、様々なスポ・レク活動、地域イベントやボランティア活動への参加、オンライン交流会等が挙げられます。



以上、お読みいただきありがとうございました。都レク加盟団体の組織力が少しでも高まることを願っております。

調布市レクリエーション研究会は、 どのように若い人を巻き込んで 組織を活性化したのか？

調布市レクリエーション研究会／東京都レクリエーション協会公認講師 高木 直

1 調布市レクリエーション研究会（以下：調布レク研）のはじまり

調布市では、調布市教育委員会社会教育課により、中学生を対象にした「リーダー養成事業」として、すでに50年以上の歴史を持つジュニアリーダー講習会（以下：JL講習会）が行われていて、調布レク研がその運営を委託されています。

その後、高校生を対象にしたシニアリーダー講習会（以下：SL講習会）の運営、一般市民を対象としたレクリエーション講習会の運営と広がり、自主事業としてのウォークラリー大会の開催なども含め、現在に至っています。

当時は、教育委員会が主催し、調布市の青少年委員が運営を行っていましたが、青少年委員制度の廃止を受け、講習会の継続のために、「調布レク研」が1988年に講習会の卒業生が中心となって設立されました。

2 講習会の卒業生による講習会の運営

設立後、教育委員会より上記の3講習会の運営を受託し現在に至っていますが、法人格を持たない任意団体として行政からの受託を受けるということはかなり珍しいことだと思います。

「講習会の卒業生が運営する」という、市民参加の運営を教育委員会が認めてくれたと思うのですが…。この形を長い年月進めてくださっている調布市教育委員会には、深く感謝を申し上げたいと思います。

3 会員一人ひとり

調布レク研の会員の中には、調布市内で、地域活動を行うボランティアグループにも所属している仲間が多くいます。調布レク研という組織だけではなく、個々の活動の母体でもあるグループに所属することで、様々な価値観と学びを調布レク研の活動にフィードバックすることにもつながっています。

また、調布レク研での活動を続けていくことで、レクインストラクターの資格を新たにとった若手の会員、都レクや日レクの表彰を受けた会員も多数います。また、近年、都レク事業への協力の頻度も多くなり、多方面から、「調布レク研」の認知度が高まることによって、会員一人ひとりの意識も変化してきました。

一例として、都レクの新年会に、若手の会員も参加させていただくことで、レクにかかわる多くの方々との接点を持つとともに、「調布レク研は、若い人が頑張っている」という姿をしっかりと見ていただく機会にもなっています。

4 「組織力を高める」ポイント

- 新たな会員確保をしっかりと行い、組織を固定化しない。
→ 次世代に繋がるための後輩を育てる講習会を作り、繋がりを大切にする仲間を増やす。
- 組織への帰属目的を会員一人ひとりがしっかりと把握する。
→ 自分がなぜ、調布レク研に所属しているのかをしっかりと考える。
- 年齢にかかわらず、意見をしっかりと交し合う。
→ 対等な関係性を築くために、活動を通じてコミュニケーションの強化を重視する。
- 新しい環境に見合う活動に常に変化していけるように工夫する。
→ 「変わらず大切にすること」と「時代の変化に合わせて変えていくこと」
- 事業協力などにより、多彩な現場で活動の喜びを感じる。
→ 幅広い見識でレク活動にかかわり、個人の充実感と活動スキルを上げていく。
- 自分たちの活動をしっかりと継続していく。
→ 「継続は力なり」

調布レク研では、諸先輩方が私たちに道を作り、委ねてくれました。私世代もまた、後輩に委ねた「想い」を繋げてくれていると実感しています。その「想い」「技術」「経験」をつないで行けることが、「組織力」だと考えます。



調布レク研の仲間たち

東京都スポーツチャンバラ協会の 今までの歩みと今後について

東京都スポーツチャンバラ協会 細川 健一

■ スポーツチャンバラとは

子ども達の「ごっこ遊び」の一つ「ちゃんばら」に、専用の用具を開発し、ルールを作り「競技」として認められるようにしたものです。

日本協会の設立は、現日本協会会長である田邊哲人氏が、「使術はすべからく護身から発達する」というテーマで、「全日本護身道連盟」を発足、その後、発展的に「日本スポーツチャンバラ協会」と改称され、1973年に創設、創立50年を迎えています。その下部組織である東京都スポーツチャンバラ協会は、1987年に東京都スポーツチャンバラ選手権を開催したことによって始まります。

■ スポーツチャンバラの普及活動

スポレクふれあい大会やスポーツ塾等でスポーツチャンバラを開催していると、「スポチャンさんは、学生さんの参加が多いですね」とよく言われます。スポーツチャンバラ自体は、幼年から年配者まで誰でもできる競技ではありますが、「どうやって普及活動をされているのか」ともよく聞かれます。

日本協会の中に、「学生普及委員会」を設置し、学生さんが独自に運営しています。スポチャンサークルのない大学にも積極的に活動を促し組織を拡大させています。その若いパワーを、東京都協会としても、大会の運営、進行、審判員等に活用し、学生さん自身の経験・成長につなげています。

また、スポーツチャンバラをご存じの方は、「面をつけ、戦う競技」と思われていますが、これ以外にも、形を競う「基本動作」と言う競技もあります。姿勢正しく、号令に合わせ演武する姿は、小学生でも立派な姿を見せてくれます。実際に、世界選手権でチャンピオンになった小学生もいます。「子どもだからできない」と言わず目標を持って稽古することが、子ども達の励みになっています。

ちょっと速い動きについて行けなくなってきたベテランの方には、日本刀を用いた、刀法、様斬（ためしぎり）も稽古の一つとして実践しています。そうです「ちゃんばら」とは、元々は、日本刀での戦いを、「ごっこ遊び」として実践しているものなので、原点は「日本刀」にあります。この日本刀を用い、刀法の稽古、巻藁を実際に斬る「様斬」もスポチャン協会で修行できることです。最近「刀剣女子」と呼ばれる若い皆さんの興味関心も高まっています。

幼年の子ども達から壮年に至るまで幅広いメニューを用意し、行事運営にも若い力をどんどん導入することが協会の底辺の拡大、発展につながると考えています。

スポチャン精神の基本は、「安全・公平・自由」にあります。これは、「安全と公平が保たれば、あとは自由でいいじゃないか」という創始者の言葉にあります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



日野市レクリエーション協会の 歴史と活動報告

特定非営利活動法人 日野市レクリエーション協会 馬場井 宏至

設立・経緯

日野市レクリエーション協会は、レクリエーション活動の指導者を養成する講座「スコレー学園」の学園長と卒業生が中心となって、平成11年2月に発足しました。

そして、各種レクリエーション活動や生涯スポーツ等を通じ、市民の余暇生活の充実、健康づくり、生き甲斐づくり、子供の健全育成等をより着実に幅広く展開することを目指し、平成13年7月に東京都の認証を受け「特定非営利活動法人日野市レクリエーション協会」として設立し、今日まで活動を続けています。

活動内容

25年間の歩みの中で、加盟団体や活動に種々変遷はありましたが、現在行っている活動としては

《楽しもう！レクリエーション》

音楽・手品・踊り・子供のバルーンアートなどのレクリエーションの集いを毎年開催しています。

《日野市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル》

スポーツの日に日野市が開催しているもので、当協会は市の実行委員会メンバーとして参画するとともに、当日は、①レク広場（子供の遊び広場）②スポーツかるた（日野市に因んだ郷土かるたを競って取るゲーム）③ピククルボール遊び&体験 ④子供たちの一輪車演技と体験会 の種目提供を行っています。

《自然観察会》

散策しながら、季節の草木や花の観察会を行っています。

《日野市レクリエーション卓球交流大会》

年1回秋頃に、400人規模の参加者を得て、卓球の交流大会を開催しています。

《加盟団体後援事業》

加盟団体の行事・交流大会等の後援をしています。

■加盟団体

- ☆スコレーひの
- ☆日野レク卓球同好会
- ☆レクプラス
- ☆リーズ・テコンドー日野クラブ
- ☆日野ピククルボール協会
- ☆いにしえ体操会



楽しもう！レクリエーション



日野市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル



自然観察会



日野市
レクリエーション協会

特定非営利活動法人

特定非営利活動法人 日野市レクリエーション協会

会長 馬場井 宏至 TEL:042-593-6323

メール:babai@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ: <https://hino-rekukyo.wixsite.com/home>

都民スポレクふれあい大会

子どもから高齢者まで、世代を超えたふれあいや健康・体力づくり、生きがいを目的としてスポーツ・レクリエーション大会を開催します。

大会会場では、初心者教室（無料体験コーナー）を実施します。

●日程 令和6年5月～12月

●会場 都内各施設

※詳細は、当協会HPをご覧ください。



ティーボール

シニアスポーツ振興事業

60歳以上のシニア世代に適したスポーツ・レクリエーションを実施し、高齢者のスポーツ参加を促すとともに健康の維持・増進を図ることを目的に交流会や体験教室等を開催します。

●日程 令和6年7月～令和7年1月

●会場 都内各施設

スポーツ・レクリエーション指導者養成講座 (通信学習・集合学習)

スポーツが苦手、体を動かすことに積極的でない、など、スポーツから距離を置いている人にも楽しく身体を動かすことができる「スポーツ・レクリエーション活動」の実施方法を学びます。

また、幼児期や児童期、高齢期など各ライフステージに応じて取り入れたい運動を、生理学や心理学の知識と合わせて習得するほか、人の心の仕組みに即して効果的にアプローチしたり、活動を展開したりする支援技術も習得します。

●日程 令和6年9月～12月

●会場 学校法人 道灌山学園

駒沢オリンピック公園総合運動場指定管理事業

東京都スポーツ文化事業団グループの一員として駒沢オリンピック公園総合運動場の指定管理者として様々なスポーツ・レクリエーション事業を担っています。

令和6年度前半は「ビジョントレーニング体験会」（7月）、「じゃぶじゃぶ池利用者向けイベント」（7・8月）等を実施しました。

今後も「チャレンジ・ザ・ニュースポーツフェスタ」（10月）、「運動不足解消のためのニュースポーツ見本市」（2月）等様々な事業を開催し、老若男女問わず誰もが楽しめる生涯スポーツの普及や健全なレクリエーションの発展を目指していきます。

●日程 令和6年7月～令和7年3月

●会場 駒沢オリンピック公園 総合運動場 各施設



じゃぶじゃぶ池 利用者向けイベント

東京みんなのスポーツ塾

ニュースポーツに携わる指導者の育成のための講習会

●日程

- 令和6年10月19日(土) グラウンド・ゴルフ/ユニカール/手のひら健康バレー/スポーツウエルネス吹矢/
バウンドテニス
令和6年10月20日(日) キンボールスポーツ/インディアカ/
ターゲット・バードゴルフ/
スポーツチャンバラ
令和6年11月16日(土) クップ、パドルテニス/
スナッグゴルフ
令和6年11月17日(日) ティーボール/フロアボール/
カーレット/トリム体操

●時間 9時~16時30分

●会場 駒沢オリンピック公園総合運動場 (屋内球技場・第1球技場・補助競技場)



レクリエーション・インストラクター養成講座 (通信学習・集合学習)

●日程 令和6年11月23日(土・祝)、24日(日)、12月7日(土)、 令和7年1月11日(土)、12日(日)

●会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

●受講料 22,000円

●申込方法 (公財)日本レクリエーション協会ホームページを ご覧ください。



福祉レクリエーション実技セミナー

●日程 令和7年1月19日(日)、2月9日(日)、3月9日(日)

●会場 東京体育館 第2会議室 ※詳細については近日中に当協会ホームページに掲載します。

東京都レクリエーション協会公認講師 紹介

スポーツ・レクリエーションで 健康と出合いを

鈴木 清人

私は小学生の頃より、様々なスポーツに出逢い楽しんできました。スポーツの良い点はそのスポーツの魅力を活かせること。そして健康維持増進と世代を超えた友達ができることです。

スポーツのお陰で、病気で通院することもなく健康で過ごせています。また、通常であればなかなか出会うことの無いような方々と楽しい時間を共有できています。

現在は主にパドルテニスというスポーツを楽しみながら、普及活動のお手伝いをしています。



レクリエーションは 人びとの笑顔のために

三谷 明男

レクリエーションとの出会いは、児童福祉職として就職したものの、何のスキルもなく悩んでいた時に、レクリエーション指導者講習会に参加したことから始まりました。

そこではレク財の習得もさることながら、人と人との繋がり、協働して事を成し遂げることに大きな喜び、感動を覚えました。まさに「レクは人なり」を実感し、それが今日まで活動を続けられる要因となっています。

現在は、放課後児童支援員として、子ども達とスタッフの笑顔のために、レクリエーションスピリッツのもと、活動を継続しています。



すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



くじを買うはエールになる



19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

東京都レクリエーション協会では、ホームページに色々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.tokyo-rec.or.jp>



■事務所 所在地

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目29番9号
日本パーティビル3階

TEL : 03-6380-4731 (10:00~17:00)

FAX : 03-6380-4732

「とれくニュース」は、
スポーツ振興くじ助成を受けて
発行しています。

令和6年度助成金交付(内定)額
.....812,000円

令和5年度助成金交付額
.....812,000円

スポーツくじ



ご支援・ご協力ありがとうございます。

当協会の賛助会員をご紹介します。皆様からの温かいご支援は協会の健全な運営に活用させていただきます。(敬称略)

- 飯田 弘
- 石井 不士男
- 石橋 朋子
- 石橋 美奈
- 伊藤 教恵
- 伊藤 ゆうみ
- 稲垣 美保
- 内山 則子
- 小倉 あけみ
- 亀石 紀子
- 木下 智恵美
- 黒羽 昭
- 幸田 紀夫
- 笹倉 雅子
- 澤内 隆
- 塩澤 迪夫
- 島田 泰子
- 須藤 修治
- 善谷 亮太
- 高尾 都茂子
- 高木 直
- 高橋 伸
- 多田 ゆかり
- 中嶋 正宏
- 名児耶 清美
- 並木 一夫
- 初瀬 満美子
- 浜本 治子
- 林 裕美子
- 福田 豊
- 牧野 正雄
- 丸山 正
- 水尻 光男
- 三谷 明男
- 師岡 文男
- 湯川 恵子
- 中野区キャンプ・レクリエーション協会
- 調布市レクリエーション研究会
- 東京都ターゲット・バードゴルフ協会
- 東京都グラウンド・ゴルフ協会
- 東京都パドルテニス協会
- 東京都キンボールスポーツ連盟
- 東京都ユニカール協会
- 東京都スポーツウエルネス吹矢協会
- 東京都ウォークラリー協会
- 東京都バウンドテニス協会
- 東京都カーレット協会
- NPO法人 手のひら健康バレー協会
- 東京リズムグループ協会
- 東京都福祉レクリエーション・ネットワーク
- (一社) 日本UD観光協会
- 草庵
- オンライン・ボランティア・コミュニケーション・ネットワーク

とれくニュース vol.55

- 発行日 令和6年10月1日
- 発行 一般社団法人 東京都レクリエーション協会
会長 塩見 清仁
- 編集 一般社団法人 東京都レクリエーション協会
広報委員会

